

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

8月は、お盆の10連休もあり多くのお客様が来店してくださいました。

去年に引き続き、暑い現場の中で営業を切らさずに店を守ってくれた皆さんに心から感謝していると同時に、少しでも働きやすい環境を作り上げていく必要性を強く感じました。まだまだ私の力不足で、暑い現場もありますができる限り対応していきたいと思えます。

とは言え、いつも暑い中でもお客様のために一生懸命働いてくれて、本当にありがとうございます。感謝の気持ちを今以上に形で表せるように、私も努力を惜しまず経営者として力を必ずつけていきます。

さて、今月の社長からの手紙は良い人生を作るために、大切な仲間を作る考え方を書いてみたいと思う。よく学校では友達を大切にしようと言うけど、人生を良くするのは友達より、実は「仲間」だったりする。

勿論、友達が仲間であれば理想だが、あえて今回は「友達」と「仲間」の違いについて私の考え方が定義を書いてみます。

【友達】共通の目的や理念がない、会話の内容が過去や愚痴がメイン、互いの関係性は、本音を言わず馴れ合いの関係

【仲間】共通の目的や理念がある、会話の内容は本音を語り合い現在から未来そして理想や夢を意見交換するのがメイン、お互いの関係性は学び合え切磋琢磨できる

社会に出て人生を良くするのは「友達」という関係性ではなく、「仲間」が身の回りにいるのか？が私は重要だと思う。仲間という関係性には「馴れ合い」という考え方が無いがゆえに、時に厳しいことを言ったり言われたりという厳しい場面もたくさんある。しかし社会に出て仲間を求めている人間は、いつも厳格で本音で関わってくるので、表面上での付き合いをしていない人であるし、愚痴や言い訳を嫌うので友達として接すると気持ち的に痛い部分もある。でも貴方の人生を良くする「仲間」は優しい人ではなく、決まって厳しいことを言ってくれる人しかいない。私は火の魂で働く人を友達と思ったことは一度もないし、火の魂カンパニーの発展を通して人生を共に良くする「仲間＝家族」だと思って部下には接するようにしている。

我々の共通の目的は、火の魂カンパニーの発展を通して全従業員の物心両面の幸せを追求することです。社員の皆は、このことを今一度理解して、「仲間」意識を持ち、夢を語り本音で関わりを持てる人間になって欲しい。人生の良し悪しは「友達」の数ではなく、「仲間」の数で決まっていく。